

静和会 石井病院 院内報

こだま

VOL.23 MARCH, 2014



撮影:中村 美鈴

場所:新ひだか町

Contents

- ① サ高住
- ② 介護研究
- ③ 看護研究
- ④ アレルギーって?
- ⑤ お知らせ

静和会石井病院 病院理念

- 医療の本質を追求し、科学的、創造的かつ主体性のある医療を目指します。
- 「思いやり」「いたわり」「優しさ」を常に忘れず、豊かな人間性で患者さんの主体性を尊重した医療を実践します。
- 保健、医療、福祉との連携を密にし、地域住民に愛され信頼される医療チームを構築します。
- ノーマライゼーションの視点に立ち、社会のニーズに応じた医療を提供します。

「サービス付き高齢者住宅の建設」

この度、国の補助金交付を受け、日高管内初のサービス付き高齢者向け住宅（サ高住）を建設することになりましたのでその概要について説明致します。

主に自力で生活出来る高齢者を対象に、プライベートを尊重しつつ24時間に亘って安否確認や生活相談、見守りサービス等を提供する賃貸住宅です。入居者の方は任意で医療、介護保険サービスを受けることが出来ます。

建設場所は現在の院長住宅地で軽量鉄骨耐火構造です。病院と直接廊下で結ばれていますので入居者やスタッフにも大きな安心感があると思います。各居室にはトイレ、洗面設備、ロッカーを備え全館バリアフリーとなっています。入居定員は32人（個室28室2人部屋2室）で2か所の浴場、食堂、談話コーナー、事務室、スタッフ当直室が設けられています。入居者にとっては快適な、スタッフにとっては機能的な施設を目指していますので皆様のご協力をよろしくお願い致します。

石井病院理事長 石井 隆司

介護研究で

学んだこと

認知症治療病棟では、入浴を拒否される患者さまがいたり、時間に余裕がなくゆっくりと入浴できなかつたり、入浴に関して様々な困難を抱えています。患者さまの話をゆっくり聞きながら入浴してもらおう事は出来ないか・・・？もっと良い誘導方法はないか？などと日々介護スタッフは悩み、考えながら勤務していました。

今回、初めて介護研究を行う機会をいただき、「スムーズに入浴誘導ができる方法」について取り組むことになりました。

取り組みの内容は、

1、入浴を拒否される患者さまはどのような誘導方法を行ったときに入浴をされたか明らかにし、その後、効果的と思われる方法を実際に行ってみる。

2、介護スタッフが考案したアプローチ方法を試してみる。具体的には、入浴剤の使用と、のれ

んや看板で装飾し、雰囲気を変え方法。

3、評価

これを繰り返し行うことで、拒否なく入浴される患者さまが出てきました。これにより、患者さまとの関わりが良いものになったと考えています。また、看護師との調整や協力を得られながら行えたことで、介護スタッフも医療チームの一員として貢献することの重要性を学びました。

認知症治療病棟 介護福祉士

鎌田 亜由美



日々の業務の中で、ナースコールなど患者からの発信を受けてからの対応が多い様に感じていた。そこで、訴え全体の事前調査を行うと約8割がナースコールと窓口対応であることが明らかになった。

看護師は、患者の心の世界に寄り添い、耳を傾け、共感し、受容しながら関わり合う関係性が重要だと言われている。訴えている事だけに対応するのでは、寄り添う時間が少なくニーズが満たされていないのではないかと考えた。そこで、日勤業務中に相談窓口を設置し、ラウンドを1時間毎に行い意図的に関わる時間を増やす事で精神科閉鎖病棟の患者の新たなニーズや訴え内容が明らかになりましたので報告します。

相談窓口の設置とラウンド1時間毎(以下本実施)を実施前と比較すると訴え回数が3倍多くなる結果となりました。これは、閉鎖病棟という日常的に閉鎖的な空間の中で生活しているとコミュニケーションを図る相手が患者同士あるいは担当看護師と限られており、コミュニケーション不足が考えられる。内木らは「人との接触を疎ましく思う都市型生活者の中での極度なコミュニケーション不足が逆にそのニーズになる」と述べており、閉鎖病棟でも同様にコミュニケーションニーズが高い可能性が考えられる。また、ステーション窓口での訴えの割合が本実施中は約半減しました。これは、患者のニーズを訴える前に聞くことができていたと考えられます。さらに看護師がディルームや病室などの物理的隔たりがない空間にいる機会が増える事で自分の事を話しやすく、日常会話をする機会が増えるという結果につながりました。

以下はこの研究の結論(原文)です。

- 1、閉鎖的環境では、コミュニケーションへのニーズがあり日常的な会話を求めている
- 2、コミュニケーションを図ることで、ニーズが満たされ物理的欲求が軽減される事がある
- 3、物理的隔たりがない空間にスタッフが存在することでコミュニケーションが図りやすい

おわりに

今回の研究により、閉鎖病棟入院患者のコミュニケーションへの渴望やニーズの一端を知ることができました。また、閉鎖病棟では、よりコミュニケーションが大切であり不安や欲求を軽減できる手段のひとつであると再認識できました。今後も患者のニーズに着目して寄り添う看護を実践し、患者理解を深めるように関わっていきたいです。

精神一般病棟 看護師 壁岸 智史 河合 章祐 柏崎 論

**アレルギーかな？
と思ったら。**

これからの花粉の季節は、くしゃみと鼻水、鼻詰まりがひどくてつらいほこりの多い所では目がかゆく、充血がひどくなる。とか、たばこを近くで吸われると喉がヒューヒューぜえぜえして咳や痰がでて息苦しくなる。湿疹、じんましんがやすい。ぎゅぎゅやらした皮膚がかゆみがでる。という方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。

これらは代表的なアレルギーの症状です。アレルギーは、特定の物に対して体が過敏に反応し、これらの湿疹、喘息、鼻炎などの様々な症状が現れる病気です。

アレルギーを起こさせる原因となる物質をアレルゲンと言います。

これは、特別なものではなく食物、ダニ、花粉、カビ、ペットなど、日常にある身の回りのものなのです。

当院でも検査できます。外来でお申し付け下さい。

石井病院 検査科



保険証の更新を忘れずに！

平成 27 年 4 月 30 日に国民健康保険の有効期限が切れてしまいます。更新月にご自宅に郵送されてきますので、古い保険証は破棄して、新しい保険証を窓口にご提示ください。

もしもご自宅に保険証が届かない場合は、新ひだか町役場の国保年金係まで問い合わせください。



3月3日は「雛祭り」

毎年恒例の7段のひな壇が当院正面玄関に飾られました。懐かしそうに見つめられている方、親子でひな壇の前で写真を撮られていた方もいらっしゃいました。

左の写真は、当院の病院食です。ひな祭りの日はチラシ寿司にイチゴのムースケーキなど豪華な昼食ですね。心温まる雛祭り、皆様はどう過ごされたでしょうか。

***** 外来担当医表 *****

精神科外来

| 受付時間 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------|-------------|----|----|----|----|---|----|
| 午前 | 8:45~12:00 | 臼井 | 松野 | 林 | 松野 | 林 | 休診 |
| 午後 | 13:30~15:00 | 臼井 | 松野 | 臼井 | 石井 | 林 | 休診 |

もの忘れ外来

| | | |
|-----------------|---------------|----|
| 水曜日午前 8:45~3:00 | ※予約制となっております。 | 臼井 |
|-----------------|---------------|----|

内科外来

| | | |
|--------------|----------|----------|
| 午後 1:30~3:00 | 第2・第4木曜日 | 石井 幸司 |
|--------------|----------|----------|

編集／発行 平成 27 年 3 月 18 日発行
医療法人社団 静和会 石井病院 編集委員会
〒056-0022 日高郡新ひだか町静内高砂町 3 丁目 3-1
TEL(0146)42-3031 FAX(0146)43-3389
ホームページ：<http://www.ishii-hp.jp/>

編集委員長 佐藤 友宏

編集後記

先日の大雪でどうなることかと思いましたが、順調に春は近づいていますね。この時期は別れがあり、寂しい季節となりますが、新たな出会いも待っています。
今年度の編集委員も3月号で解散となります。ご愛読ありがとうございました。引き続き、次年度も「こだま」のご愛読よろしくお願い致します。

こだま編集委員長 佐藤 友宏